

特別支援教育について

流山市立市野谷小学校

特別支援教育を受ける場

- 通常の学級 （担任を中心とした学級内支援）
- なないろ学級 （知的特別支援学級）
- ひかり学級 （情緒特別支援学級）
- ことばの教室 （言語通級指導教室・おおたかの森小学校
通級決定後、週一時間保護者が送迎をして通います。）
- きこえの教室 （難聴通級指導教室・南流山第二小学校
通級決定後、週一時間保護者が送迎をして通います。）

なないろ学級（知的特別支援学級）

他の人と学ぶペースが 違う。
少人数の方が落ち着いて学べる。

《特徴に合わせた学習》

・個別・グループ学習

発達に応じた（読む・書く・聞く・話す・計算など）課題を子どもの理解のペースに合わせて学習する。

・なないろ学級での活動

日常生活の指導や姿勢、ビジョン・ソーシャルスキルトレーニング、制作活動、栽培、調理などを行う。

・交流学习

（同学年、異学年、地域で、参加できる教科の学習や活動をする）

- ・分かることやできることが増える。
- ・自分に合った学習方法がわかる。
- ・我慢する方法がわかる。
- ・コミュニケーション力が高まる。
- ・社会スキルが身につく。
- ・自己肯定感が育つ。

ひかり学級（情緒特別支援学級）

社会性・コミュニケーション能力を伸ばす。
安心して過ごせる教室で、少人数で落ち着いて学習する。

《特徴に合わせた学習》

・自立活動（週2時間以上）

ソーシャルスキルトレーニング、ビジョントレーニングなど個に合わせた活動

・学習

（ひかり学級で週時数の半数以上）

基本的に教科の学習は、交流学級で学習するが、心理状態や支援が必要な教科については情緒学級で学習を進める。

・分かることやできることが増え、自分に合った学習方法がわかる。

・我慢する方法がわかる。

・友達や教師とのコミュニケーション力が高まる。

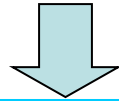
・社会スキルが身につく。

・学校生活のリズムが身につく。

・自己肯定感が育つ。

ことばの教室（言語通級指導教室・ おおたかの森小学校へ他校通級）

言葉に関する一人一人の課題に応じた
自立活動を行う。（週1時間）



《特徴に合わせた学習》

・構音指導

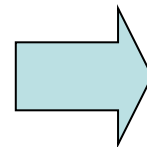
一人一人の課題に合わせた構音（発音）指導をし、発音の改善をする。
（しゃかな、たかな→さかな）

・吃音

吃音についての学習をし、自分の話し方に自信を持てるようにする。

・言語発達・コミュニケーション

ゲームや会話などを通して、言葉の学習を進め、円滑なコミュニケーションを図ることができるようにする。



・わかることやできることが増える。

・言葉についての理解を深め、学級や家庭での日常生活に生かす。

・コミュニケーション力が高まる。

・社会スキルが身につく。

・自分の話し方に自信を持ち、自己肯定感が育つ。

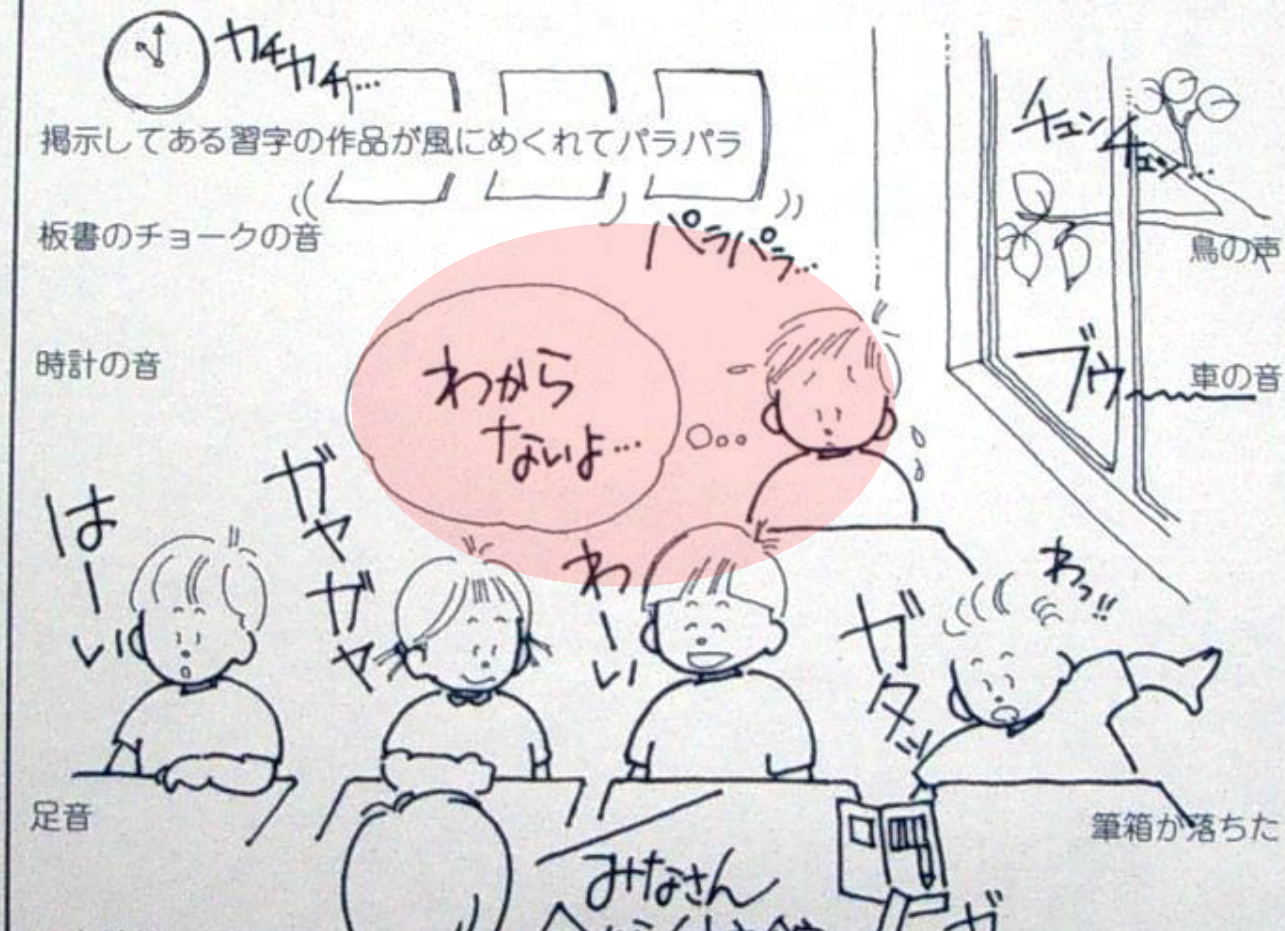
五月十七日

「みんなは、わかっているのに
自分だけが わからない。
自分は、努力が足りないのだ。」

とってひそかに苦しんで
いることがあります。

「書かない」のではなく「書けない」

教室はいろいろな音がいっぱい



聞かない」のではなく
聞き取れない」

小学校教育では
顕著にあらわれてくることもある
⇒ 児童の困り感につながる

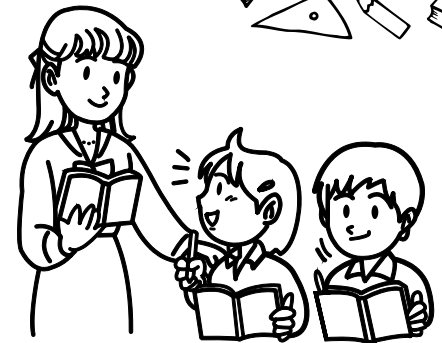
特別支援教育(いつでもだれでも受けられる支援)

「生活リズムは整っているのに…」

↓
担任や特別支援教育コーディネーター、
スクールカウンセラーと相談
教育相談日の活用



校内特別支援委員会・教育相談・教育支援委員会
情報収集、相談、発達検査などで原因を探る。
個に合わせた支援の場や内容を考える。



↓
個に応じたわかりやすい支援

(自分の教室で、さくら学級で、
みずき学級で、ことばの教室で…)

↓
「できた!」「わかった!」



特別支援教育について

ご清聴ありがとうございました

流山市立市野谷小学校